

# 学生ボランティア オリエンテーション

## 夏期講座 Student Volunteer Handbook

---

### ようこそ三育学院へ

皆さんは今日から「学生」ではなく子どもたちから〇〇先生と呼ばれる三育学院の教育スタッフの一員になります。

---

### 1. ボランティアとは

ボランティアとは「暇な時に手伝う人」という意味ではありません。目的を持って相手のために行動し、それを通して自分自身も成長する学びの機会です。

---

### 2. 子どもたちはあなたを見ています

子どもは言葉よりもあなたの姿を見ています。あなたの、

- あいさつ
- 表情
- 話し方
- 行動
- 思いやり

すべてが子供たちに影響を与える教育になります。

---

### 3. 先生としての自覚

皆さんは子供たちの友達ではありません。子どもたちにとっては立派な先生です。

だから

- 時間を守る
- 約束を守る
- 責任を持つ
- 最後までやり切る

ことを大切にしてください。

---

## 4. 主体的に動く

言われるまで待つ人ではなく、必要なことを考え、自分から動ける人になってください。

例えば

- 困っている子はいないか
- 教材は足りているか
- 次に必要なことは何か

を常に見て、考えてください。

---

## 5. 子どもとの距離感

子どもとは仲良くしてください。しかし、親友になることではありません。先生として安心感のある距離感を大切にしてください。

---

## 6. 教師との関係

担当教師がクラスの責任者です。迷った時は必ず相談してください。勝手に判断しないことが大切です。特に、指導（良い、悪いの判断、保護者への連絡、授業内容）などは、担当教師の判断ややり方を尊重し、サポートすることが肝要です。

---

## 7. 身だしなみ

あなた自身が学校の代表です。

- 清潔感
- 動きやすい服装
- 明るい表情
- 丁寧な言葉遣い

を心掛けてください。

---

## 8. SNSについて

子どもの写真や動画を個人的に撮影したり、SNSへ投稿したりしてはいけません。学校のルールを守ってください。

---

## 9. 守秘義務

学校で知ったことは外で話さないでください。子どもの情報や家庭のこに関しては守秘義務がありますので、秘密を守ります。

---

## 10. わからない時は聞く

質問することは悪いことではありません。分からないまま進める方が困ります。遠慮なく担当教師へ相談してください。

---

## 11. ボランティアを通して身につけたいこと

この夏、ぜひ次の力を伸ばしてください。

- 責任感
- 主体性
- 協調性
- 思いやり
- 観察力
- コミュニケーション力
- 社会人としてのマナー

- リーダーシップ
  - 奉仕の心
- 

## 最後に

皆さんは、子どもたちを支えるために来ています。しかし同時に、**一番成長するのは皆さん自身かもしれません。**この経験は、将来どのような道へ進んでも必ず役に立ちます。子どもたちから信頼される「○○先生」として、一人ひとりとの出会いを大切に、責任と喜びを持って活動してください。